Ｒ6.4

日本脳炎予防接種の説明

|  |  |
| --- | --- |
| 接種対象年齢 | 1 期：生後６月から 7 歳６か月に至るまでの間（３回）（望ましい接種年齢は、３歳～５歳）２期：９歳以上**１３歳未満（１３歳の誕生日の前日まで）**（１回） |
| 【特例措置】※**平成７年４月２日生～平成１９年４月１日生の方**は、２０歳未満の間　　　残りの不足回数分を定期として接種できます |
| ワクチンの種類 | 不活化ワクチン |
| 予防する病気 | ＜日本脳炎＞日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10 日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。流行は西日本地域が中心ですが、ウイルスは日本全体に分布しています。飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年 6 月から 10 月まで続きますが、この間に、地域によっては、約 80％以上のブタが感染しています。以前は小児、学童に発生していましたが、予防接種の普及などで減少し、最近では予防接種を受けていない高齢者を中心に患者が発生しています。感染者のうち 100～1,000人に 1 人が脳炎を発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の死亡率は約 20～40％ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。 |
| 接種回数 | * 標準的な接種

**１期**：初回接種は６日以上標準的には６日～２８日の間隔をおいて 2 回、追加接種は６月以上、標準的にはおおむね 1 年を経過した時期に 1 回（６日から２８日までの間隔） （６月以上、標準的におおむね１年）初回 1 回目 初回２回目 1 期追加**２期**：９歳以上１３歳未満で１回2 期（９歳以上１３歳未満）１回※特例措置の対象者は、過去に受けられた接種歴等でスケジュールが異なってきます。母子手帳で接種歴を確認の上でかかりつけ医へご相談下さい。接種歴がご不明の場合は佐賀市健康づくり課へご相談下さい。 |
| 実施時期 | 年間通して実施 |
| 実施場所 | 個別予防接種実施医療機関 |
| 注意事項 | 幼児期に受ける 1 期の初回接種 2 回と次年度の追加接種 1 回の計 3 回の接種で基礎免疫ができます。できた抗体の力は徐々に薄れていってしまいます。そこで 2 期（9歳以上 13 歳未満）の時に追加免疫をする必要があります。2 期を受けるときに基礎免疫ができていないと効果がありません。幼児期にしっかりと基礎免疫をつけましょう。 |
| 副反応 | 接種１日目にピークとして発熱がみられ、他に局所反応として注射部位の腫れ、じんましん、発疹などもみられています。 |
| 備考 | 各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。 |